

ニセコ山系目国内901m 峰

日 程 令和3年2月21日(日)

参加者 CL 藤木

スキーA班 L 西田 SL 酒井—後藤 藪中 内山 笹山 太田

スキーB班 L 小山内 SL 澤田—水江 宇田 増川 八重樫

S シュー班 L 藤木たか子 SL 森永—津川 小笠原 (18名)

行程時間 登り3時間 下り55分(昼食時間20分) 標高800M 迄

6:00 伊達道の駅

久々の6時集合。ほぼ予定の時刻に伊達道の駅を出発します。

交通安全の旗がちぎれんばかりにはためいています。

これから向かう蘭越方面はどうでしょうか？豊浦町で国道から山道に入ると景色は一変雪国の世界です。

こんもりと積もった雪が綺麗！昨日の雨で路面はツルツル運転者は気が抜けません。

ニセコ道の駅でGさん、Uさんと合流して登山口に向かいます。

登山口迄の林道はきれいに除雪されていて車5台安心して駐車出来ました。

8:20 体操 ビーコンチェックを済ませ出発。風はそれ程強くないものの雪は強弱を

繰り返し降り続いています。

なだらかな林道を行きますが時折、強い風で視界が悪くなり要所、要所にルート旗を立てながら進みます。

林道歩きも終わりに差し掛かった辺りで Mさんが『何か 落ちている！』見ると、



シール先端に付いている部品が取れて落ちていたのです。

直ぐに心優しい男性達が応急の補修をしてくれたので事無く登って行く事ができます。

樹林帯に入ると少し傾斜が出てきましたがヒールを上げる程でもなくゆるゆると登り先頭交代でA班が一巡したところでB班と交代。

時折、薄日は射してくるが相変わらず降ったり止んだり強い風も吹いています。

ヒールを上げて疎林帯迄登って行くと 本日1番のステキ斜面が現れる。

が、益々強い風で 雪をともない横殴りに吹き付けてきます。

標高750M手前まで 登った所でリーダー会議。

結果、『このまま800M辺り迄登りますが 適当な所で撤退します』とのこと。

丁度B班が一巡したタイミングで撤退です。



11:40 シールを外しドロップイン!!

A班からB班へ みんな楽しそうに滑り降りていきます。

三度ほど人数の確認をしてわずか20分程で林道の手前迄きました。

時計を見ると12時。グットタイミングです。

ここで昼食いつの間にか雪も止み晴れています。

12:20 下山開始。この先は林道を止まらぬ様にひたすら滑り降りて行きます。

これが山スキーの1番良いところでも有り、辛いところでもあります。

12:35 登山口着 先に降りていたSシュー班に迎えられる。

12:50 解散 清算、解散式をして現地で解散



今回も登りはつらいよ・・・下りは良いヨイの楽しい山行でした。

計画を立てて何度も下見に走って下さったリーダー、悪路を運転して下さったドライバーさん、会計さんお世話になりました。ありがとうございます。

(記 八重樫)